

Mランドニュース Vol.179

丹波ささ山校 令和4年3月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

「小さな事に忠実でありなさい。
そこにあなたの強さが宿る
のですから」

マザー・テレサ

Mランドウォッチング

変チーム 前川 昂希

今年是全国的に積雪が多く、Mランドも雪が降り積もる日が多くありました。

そんな朝は、職員総出で教習コースと教習車の除雪作業からスタートします。

この日も、除雪作業をしていると、二階の教室で校内清掃のボランティアに参加されていたゲストが、窓から顔をだして、「私たちも雪かきしたいです！教室の掃除が終わったら、手伝いにいってもいいですかー！」と、元気に声をかけてくれました。

嬉しいお言葉でしたが、「寒いし、風邪ひいたらアカンからやめときー」と、お止



彼女たちにとって、除雪は楽しいこと！

めしたのですが、その声も空しく気付けば軍手、長靴を履いて準備万端のお二人の姿が。

これは仕方がないなと思い、一緒に手伝ってもらいました。お二人は満面の笑みで「雪かき一回やってみたかったんです！」と、口をそろえて言われ、手が凍えるほどの気温の中、寒さなど微塵も感じないのかのように、雪かきを楽しんでおられました。

お二人が手伝いに来てくれるまでは、厚い雪雲に覆われ吹雪いていた天候が、元氣な笑顔いっぱいのお二人が現れたとたん、見事に澄み切った青空が、空いっぱい広がりました。

お二人の行動や言動、そして「楽しもう」という気持ちが天候をも変化させたのかと

感じました。

また別の日には、ゲストがペットボトルのキャップと小枝で作った雪だるまが、Mランドに姿を現しました。



この雪だるまは、ゲストや私たち職員も利用する小道に作られており、行き交う人々を優しく見守り、ほのぼのとさせてくれていました。



都会からお越しになられたゲストにとっては、雪が降ること自体が珍しいようで、日々雪遊びを楽しんでおられる姿を見かけます。

ときとして、熱い雪合戦が繰り広げられていることも。Mランドの教習理念は、「楽しくなければ仕事ではない。」

仕事の中に遊びがあり、遊びの中に仕事がある」という言葉から始まります。

このことをゲストから、あらためて学ばせていただいたように感じています。

もう少し寒い日々が続きますが、心は温かく楽しむことも忘れず、ゲストと一緒に笑顔で顔晴っていかうと思えた出来事でした。



バレンタインデー

二月十四日は、恒例となっている、「バレンタインデーイベント」。今年も、ゲストの皆さまに感謝の気持ちを込めて実施しました。

本来、この日は女性から男性へと気持ちを伝える日ですが、お越しいただいた男性、女性すべてのゲストに向けて、インスタクターから、一枚一枚手書きのメッセージを添えて、ゲストにお配りしています。



今年はミロのランチと一緒に、ゲスト一人一人にお渡ししました。

私たちの予期せぬ計りに、午前の教習を終えたゲストで、ミロではしばし小さな歓声につつまれていました。

ほんの心ばかりのお菓子とメッセージでしたが、受け取られたゲストの笑顔は私たちには、なにものにも代えることのできない宝です。



午後からの教習も顔晴ってね！

大切な思い出

滋賀県より、四名で合宿に参加されてMランドを卒業後、大変嬉しいお便りをいただきましたのでご紹介させていただきます。

Mランドの皆様、卒業してから数日経ちますが、皆さまお変わりなく、元気で過ごしてはいかがでしょうか。

私たち四人は、本免許試験に無事合格することができました。どれもこれも皆さまのおかげです。本当に感謝しています。

私たちは、新型コロナウィルスの影響で、高校生活の思い出となる、修学旅行や文化祭、留学などが相次いで中止になってしまいました。

そんなときに、免許合宿の話題が私たちの間で出てきて、高校生活最後の思い出を作りたいと思い、免許合宿に参加しました。

出発する前には、合宿の共同生活で使う日用品を、みんなで購入したに行ったのも、今になっては大切な思い出といふようになっていきます。

入校当日、みんなですーツケースを引きながら、京都駅に向かい、そこから電車を乗

り継いで、Mランドのある丹波篠山に向かいましたが、四人一緒に電車で遠くまで行くのはすごく久々で、ワクワクしました！

免許合宿がスタートし、まず感じたのは、想像していたよりも「大変！」(笑)。

教習を最短十三日間で卒業するということ、スケジュールは思っていたよりもハードでした。

学科もときには一日で覚えなければ効果測定(学科試験)に間に合わなかったり、技能教習も一回教わっただけでは出来ないこともありまして。

学科に関しては、今年で一番勉強したんじゃないかと言ってくらい(笑)、みんなで頑張りました。

初めての運転はやっぱり怖かったです。簡単にすごいスピードが出てしまうので、「事故してしまったらどうしよう」と、教習を受けて初めて、「車を運転する」という責任の重さを感じました。

それでも、インストラクターの皆さんは、優しくて面白い方ばかりだったので、毎日運転にビビりながらも、楽しく教習を受けることが出来ました！

四人で協力し、助け合いながら過ごした十三日間。勉強も、運転も思っていたよりも大変でしたが、仮免許の試験も、卒業検定にも全員一回で合格し、私たちの免許合宿は終わりを迎えました。

友だちと四六時中、一緒に過ごすことなんて滅多にないことなので、高校最後の思い出にと、一緒に夜更かししたり、一所懸命勉強した思い出は、忘れたくても忘れられませんが、Mランドに来てよかったと思えました！



かけがえのない時間を過ごされました

卒業してから、約一週間後に、地元で本免許試験を受け、無事四人とも一発合格することができました！

試験に一発で合格できたのは、Mランドで空き時間に学科試験の勉強をしたり、イン

ストラクターの皆さんが分かりやすく授業をしてくださったおかげです。😊

免許を取得してから、隣に母に乗ってもらい、運転をしています。やっぱり怖い気持ちもあります。

運転に慣れた頃が一番危険だと思うので、何年経っても初心を忘れず、安全運転ができるドライバーになりたいと思います！

新米パパ、奮闘記

営業チーム 上出 健二

昨年の六月十二日、私たち夫婦に第一子となる男の子が誕生しました。

息子を授かったことで、あらためて家族の大切さや絆を感じることができました。

昨年は会社より育児休暇をいただき、妻と共に育児に奮闘してまいりました。

その生活の中で、育児の大変さ、素晴らしさ、我が子の命の尊さを、身をもって知らされるとともに、「母親」という存在の偉大さをあらためて感じる事ができました。

母親は子どもを授かった瞬間からいつも、子どもに神経

を使い、子どものことを考えています。

私自身も「出産と授乳以外はできる！」と妻から話をされ、見よう見まねで育児に取り組んでいますが、やはり母親ほど、きめ細やかに考えて接することができず、もどかしさも感じています。

その中で大切にしていることは、子どもへの愛情とともに、妻が笑顔でいられるように努力することです。

いつも一所懸命頑張っている妻へのフォローも、大切な私の役割とっております。



「あ〜ん、食べてねー」

そして、父親として家族を守っていくという責任感を持ち、これからも会社に貢献していきたいと思えます。

家族が増えたこともあり、新しく家を建てる計画を進めていくことにしました。

この春から、妻は保育士として仕事の復帰を、息子は保育園に入園を目標にしています。

家族と共に、新たな生活が始まりますが、心一つにして、楽しい家庭を築き上げていくように頑張ってまいります。

編集後記

この二月も感染対策にご協力いただき、多くのお客様にお越しいただきました。

若い皆さんは、私たち大人が若かりし頃そうであったように、将来への希望もあれば不安もお持ちです。

「そのままのあなたでいいのですよ!」、「頑張っていて嬉しい!」と、お見送りできるMランドであるよう、これからもゲストと向き合います。(徹)

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

3/6(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:前川

3/27(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:中野

※当日はMランド集合です。(雨天中止)
ご参加いただける方は井本までご連絡ください。